

# 未来を担う 子どもたちのために

～やさしく・かしこく・しなやかに～

◎教育総務課学校教育環境整備推進室 ☎72-5032



未来を担う子どもたちの  
教育環境の充実に向けて

現在、全国的に少子化が進み、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しました。学校においては、子どもたちが互いに刺激し合う教育環境が確保できなくなったり、異なる学年の児童・生徒を一つの学級に編制し授業を行う複式学級を余儀なくされるなど、その影響が顕著に表れています。

市教育委員会は、▼学校における多様な人間関係を通し、互いに理解を深め、切磋琢磨しながら社会性を養っていくことができる環境

▼グループ学習や部活動、学校行事など、一定規模の集団を前提とする教育活動を支障なく実施できる環境など、子どもたちにとって最良の教育環境を整備していくため、教育施設再編・統廃合を推進しています。



## 古川北小学校の開校

令和3年4月、147年の歴史を持つ宮沢、清滝、富永、長岡の4つの小学校が一つになり、古川北小学校が誕生しました。

古川北小学校は、それぞれの学校が積み上げてきた学びを引継ぎながら、未来の大崎市を担う子どもたちの学びを保障します。これまで各校が築いてきた地域との絆を大事にし、これからも地域に根差した学校とするため、地域と連携した「ふるさと教育」を推進しています。

これまで4校が築き上げてきた歴史と伝統を継承しながら、児童一人一人に寄り添い、「やさしく」「かしこく」「しなやかに」未来を生きる力を育みます。

## 古川北小学校流「ふるさと教育」

### 古川北小学校流「ふるさと教育」

#### 「思」思考・判断・表現

- ▶ 地域を知ることにより、自分たちの住む地域の良さを知り、愛着を持つ
- ▶ 福祉について調べ、さまざまな人と触れ合い・体験する中でボランティアの見方・考え方を高める
- ▶ 地域の自然環境への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、課題解決にむけて努力する姿勢を身に着ける

#### 「知」知識・技能

- ▶ 地域内を調べ、今まで知らなかった地域の歴史や文化について理解する
- ▶ 地域で生きる人々とその願い・思いについて体験を通して理解する
- ▶ 生物は地域の環境と関わって生きていることを学ぶ
- ▶ 大崎市と他市町村を比較し、類似点や相違点について考え、自分たちが住む地域の良さに気づくことができる

#### 「主」主体的に学習に取り組む姿勢

- ▶ 地域・伝統・文化に対する地域の思いや願いを知り、地域の良さを伝えることができる
- ▶ 体験を通して身体の不自由な人と共に生活し、助けようとする心を育む
- ▶ 環境との関わりの中で、自分でできることを見つける力を身に着ける
- ▶ 課題解決の中で自分の良さに気づき、探究活動に進んで取り組む

## 校長先生 Interview

開校当初は、遠慮がちに校庭で過ごしていました。早く慣れてほしいと願っていましたが、今は、業間、昼休みと校舎内外、子どもたちの声が響き、校庭で汗をいっばいかきながら遊ぶ姿があります。

北小の児童会のスローガンの話し合い、そして挨拶運動、みんなのために活動する委員会活動、さらに全校で取り組む北小太鼓の練習も始まりました。少しずつ、「自分たちの学校」という気持ちが出てきたようです。

子ども、家庭、地域、関係機関、教職員のみならずで学校を作り上げていきたいものです。



古川北小学校  
高橋一浩 校長

## 古川北小児童 Interview



木村陽太 君 6年

友達がたくさんでき、サッカーや鬼ごっこをして遊んでいます。修学旅行が楽しみです。下級生が増え、下の子を引っ張っていかねばいけなくて、頑張りたいです。



高橋彩愛 さん 5年

友達と各出身の小学校の話をしたり、聞いたりするのが楽しいです。休み時間は、校舎内を回って探検をしています。いろいろな発見があって、楽しいです。



千葉祐依 君 4年

古川北小学校になって、友達がたくさん増えました。好きな授業は体育で、なにも走ることが大好きです。



伊藤ひなた さん 3年

たくさん仲の良い友達ができました。みんなで、鬼ごっこやドッジビーで遊んでいます。習い事も頑張りますが、これからもみんなで仲良く遊びたいです。



橋本悠汰 君 2年

古川北小学校になって、友達が増えました。みんなと仲良くなれるのが嬉しいです。今はたくさんの友達と鬼ごっこをして遊ぶのが、楽しいです。



佐々木ヒカル さん 1年

好きな授業は算数です。休み時間は、外で遊ぶことが大好きです。今は鉄棒を一生懸命練習しています。これからたくさん友達を作りたいです。